

活動名：第 11 回常葉カップフットサル大会 U10

日 程：令和 5 年 1 月 14 日（土）

会 場：小野町民体育館

参 加：4 年生 11 名

帯 同：設楽・大森コーチ

結 果：予選リーグ

VS 行健 SSS 5 : 0 ○

VS 小野 FC 1 : 1 △

リーグ 1 位通過

決勝トーナメント

VS 船引 SSS 7 : 0 ●

3 位決定戦

VS 小野 FC 3 : 1 ○

結 果 3 位 / 9 チーム

報 告：設楽

### テーマ

フットサルのルールを覚えること。

今の自分が持っている技術を出し切ること。

終わった後にもっとできたということにならないように全力でプレーすること。

送迎と応援をしてくれている親への感謝を込めて、精一杯のプレーをすること。

優勝という自分たちの今大会の目標に向かって、仲間とともにチャレンジすること。

### 出来事

試合時間は 10 分ハーフと短く、また予選で敗退すると、実質 2 試合のみとなることから、1 位通過で決勝トーナメントに進出でき、計 4 試合の経験ができるようになることからリーグ戦 2 試合の勝利を目指しました。

参加者が 11 名と多かったことかもフットサルは 5 名のメンバー構成でもあり、リーグ戦の 2 試合（計 40 分間）を平等の時間で出場させることができるように、一人あたり 1 試合 5 分間は確保し、事前に相手チームの様子を確認して、メンバー構成を立案していました。予選 2 試合目の小野 FC さんにも快勝して計画どおりのメンバーで戦う予定でしたが、非常に苦戦したことから、その事前のメンバー構成の立案も崩れてしまいました。

幸いに得失点差で決勝トーナメントに進出したものの、準決勝の船引 SSS さんには開始早々の猛攻にあい、勝機が無いことから全員に出場してもらい強豪との経験を積むことを考えた結果、大差で敗戦して 3 位決定戦へ回ることになりました。

3 位決定戦では予選リーグで戦った小野 FC さんと再び試合をすることになり、予選で引き分けていたことからしっかりと勝利することを目指し、この試合も全員出場て勝利することができました。

平等に出場する機会を与えなかったのですが、試合の流れを壊さないよう配慮したことで、選手個々に偏った出場時間となってしまいました。自分の今の技術や体力を感じてさらなるレベルアップを図ってほしいと思います。

### 課題

相手のボールを奪う技術、パスやシュートの精度と強さの習得において課題があるため、帰りの時の話しでも選手たちに伝えましたが、この学年はサッカーに対する興味や楽しさは非常に感じますが、練習に向き合い上手になりたいといった向上心が全体的に練習の姿勢からも薄く見られます。また、他のチームのプレーを見る姿勢も無かったので、もっともっと上手になりたいという気持ちをもってサッカーに向き合ってくると6年生になった時には個性のあるレベル高い選手になれると思います。

引き続き、根気よく練習に挑んでいきましょう。

### 良かったこと

この学年も自らキーパーポジションをやりたい人がいないため、自信の無い子に任命すると失点も多くなり、試合が壊れてしまうため、出来そうな子をお願いをして4試合をプレーしました。キーパー役を嫌がらずにやってくれたことに感謝します。

今年度の4年生以下の大会も月末の川俣ウインターカップU10で終わりです。

今回の大会経験を踏まえて4年生最後の戦いを後悔無くチャレンジして欲しいと思います。

常葉SSSの関係者のみなさん、前日からの準備と当日の運営をありがとうございました。また、来年もご招待をいただけたら幸いです。

保護者の方々には朝早くから子どもたちの送迎と応援をありがとうございました。

毎度の話しですが、子どもたちの未来への成長は、子どもの頃に様々な経験をさせることだと思います。試合でプレーした経験、勝ち負けの経験、友達との交流による協調性を育む経験など、今回も多くの貴重な体験ができたと思います。

今後もアーシの活動にご理解のほどよろしくお願いいたします。



コーチ 設楽







